

支援プログラム（公表）

板橋区立加賀福祉園児童ホーム

作成日 2025年1月7日

法人理念	人生(存在)への支援・援助
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を環境や他者との関係の中で捉えることを念頭におき、関係機関とも協力しながら地域社会の中で育つよう支援する。 ・発達領域にあることを踏まえ、幼児としての発達過程に留意しながら、生活、運動、認知、社会性等、各領域について目標を立てて支援・保育を行う。

本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医による健康診断（年2回）。看護師による身体測定（毎月）。 ・連絡帳による家庭との連絡調整(体調、睡眠、服薬等)。 ・個々の状況に合わせた基本的な生活習慣（食事、排泄、着脱等）の支援。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動、手指操作ともに、遊べる身体づくりや未体験の動きに児童自身が気づくことを目的とし、また、幼児としての運動発達過程にも留意しながら取り組む。 ＊主な視点・・・姿勢保持、基本動作、協応動作、ボディイメージ、集団の中での動き、感覚（揺れ、触覚、固有覚など）、働きかけや遊具に合わせた動き（調整力）、持続して力を入れる ＊粗大運動など・・・リズム・リズム運動、大型遊具（サーキット含む）、揺れ遊具、乗り物、関節可動域体操、運動療法等 ＊手指操作、目と手の協応など・・・線描画、ひも通し、はさみ、運針等 ＊PT、OTとの会議などを持ちながら支援する。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・行動や認知の仕方の背景を環境面からも考察する・・・児童個々の感覚受容の在り方への配慮。また、物だけではなく、保育者自身も環境のひとつであることを踏まえた関わり。 ＊絵（写真カード）、スケジュールボード ＊椅子(着席)の工夫・・・座面や足元への刺激、座位保持椅子、手すりつき椅子、クッションチェア、適切な着席時間、十分な運動遊びの保障等 ＊刺激の調整・・・イヤーマフ、職員の位置、声かけの量や語気、教材の提示方法等 ・概念・・・教材の他、遊びや生活など実体験を通して理解につなげる。 ＊登園後の荷物の弁別、活動道具配り、買い物遊び、出欠とり、出席シール貼り等
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の獲得・習得において、それぞれの児童への適切な発達課題を見定め、支援する。 ・要求と応答・・・児童それぞれの望む遊び・関わりを支援者から働きかけ、望みがかなう経験や働きかけへの期待感を育てながら、要求表出や応答性につなげる。 ・模倣・・・真似る・真似られる関係を通して他者への注目を促し、学ぶことの基礎づくりとする。 ・コミュニケーション手段としては言語だけではなく、絵（写真）、身振り、文字や数字など、それぞれの児童の状況に合わせて対応する。 ・STとの会議などを持ちながら支援する。
	社会性・人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・三項関係～他児との関係、集団活動と進めていくために、二項関係において他者（大人）との安心感を十分育てる。 ・望ましくない（と大人側が感じる）児童の行為については、その背景を検討した上で環境や関わり方を整えることを基本とする。 ・般化・・・身近な大人や児童との望ましい関係を、他の関係（他クラス、保育所、就学後など）へも広げていくことを見据えた支援（主として視覚的な手がかりとその使い方、そしてその引き継ぎ）。

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問（年1回・希望しない方は面談）、個別面談（年1回以上）・・・家庭状況の把握、家庭での過ごし方の提案等。 ・きょうだい児が参加可能な行事の企画（年5回程度）。 ・保護者が好きな時にいつでも活動を見学できるようにしている。 ・自園調理の給食を提供。 		
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先、移行先の幼稚園、保育園等との連携（電話連絡、見学受け入れ、訪問等による情報共有）。 ・就学先、転園先との連携（電話連絡、支援情報提供）。 ・毎日グループ退園で就園する児に対しては、隔週実施の親子グループ（めろんグループ）を毎週参加可能としている。 ・保育園体験の同行。 		
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースに応じて、子ども家庭総合支援センター（子ども家庭支援センター、児童相談所）、健康福祉センター、病院、他の児童発達支援事業所等との連絡調整。 ・個々に応じて、相談事業所からのモニタリング、見学に対応。 		
<p>職員育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の他、事業所内研修（年2回）、法人内研修（年1回）を実施。 ・OJT・・・複数名（3～4名）によるクラス運営により、現場での活動を通して育成。 ・育成シートならびにそれを用いた上長等による面談。 		
<p>主な行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式、卒園式、家族参観（年2回）、遠足（年2回）、外出・公共機関利用行事、運動会、音楽会、すいか割り、夏祭り（福祉園全体行事）、福祉園祭（福祉園全体行事）等 		
<p>支援時間</p>	<p>10:15～14:15</p>	<p>送迎実施の有無</p>	<p>○あり・なし</p>